



### 一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会 定時総会開催

■ 寄稿：「建築の素晴らしさを」 有限会社政建設 代表取締役副社長 政和豊  
各部会報告 / 新入会員紹介 / 〈会員のイチオシ〉 member's Recommend

□ 天文館の本格イタリアン「SPRESSO」 - 株式会社盛洋建設

ミラノから取り寄せたピザ窯をディスプレイも兼ねて見える位置に配置して、ピザ職人が作るのを見ながらお食事いただけるお店になっています。

## 01

### SPECIAL REPORT

#### 定時総会開催

— 今年度の事業・予算案が無事承認 —

2019年4月25日に定時総会を開催し、昨年度の事業や決算の報告と今年度の事業・予算案が無事承認されました。今後の主な活動予定として、「WEB発信セミナー」「経営者講習会」「三県合同懇談会in鹿児島」「2019かしま住まいと建築展」「学生との交流会」等々、会員及び青年部会の更なる飛躍につながる事業や、今後の建設業を担う学生との交流の機会を多岐にわたって増やしていく予定です。青年部一丸となって楽しく令和の時代を突き進んでいきます。



(一社)鹿児島県建築協会青年部会  
2019年度 懇親会



田島部会長 挨拶



鹿児島県建築協会 中村明人会長 挨拶



卒会者 政和豊様 挨拶



卒会者へ記念品贈呈

また、今年の3月をもって青年部会を卒会された有限会社政建設・政和豊様もご出席頂き、入会から卒会までの思い出や青年部会活動の大切さ等、後輩に贈る思いの詰まったお話を聞くことが出来ました。

「自分達の会社の強みは何か？方向性を確立して前に進んでください」「会社の安定を願い、健全な経営を意識して、対等な立ち位置で、設計者さん、お施主さんと対話してみてください。きっとご理解頂けると思います」「日々の立ち振る舞い、誠意のこもった仕事振りを続ければ営業をしながらも仕事の依頼は、必然的にやって来ます」「この建築協会の青年部会に参加する事が出来、お互いがライバルでもあり、良き同志でもあり、素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。切磋琢磨できる本会の素敵な環境が、大好きでたまりません」政さんの一つの言葉には力強さと説得力があり、会場は深い感動に包まれました。

卒会する先輩の皆様本当におめでとうございます。先輩方の卒会はとも寂しいですが、残ったメンバーで更に青年部会を盛り上げていきます。県内就職とUターン希望者が半数を超えており、会員企業に興味を示している方もおりました。これからも事業を地道に継続していくことで、建築業への担い手増加につなげていきたいと思います。



総務・IT 委員会

ヤマグチ株式会社  
山口 秀典



■ より一層アピール力の強化を

建設業界の事、建設業で働く魅力、監督・設計・専門職種の違い等、業界に関連のない方や学生に、より私たちの事を知って頂き、理解を深めて頂くのは大変重要な課題です。

2年目を迎えた総務・IT 委員会では、より一層外へ向けてのアピール力を高め、イメージアップにつながるようメンバー同士で知恵を絞りながら「2000 誌」での広報活動に力を入れていきます。

また、今年も「WEB発信セミナー」を開催いたします。会員企業各社が、技術・人材・風土等、それぞれの強みを、お客様、学生等望むターゲットにしっかりと訴求できるツールは何なのか、どのように取り入れたいのか、実践レベルにまで落とし込めるセミナーを予定しております。

今年も、切磋琢磨しながら、楽しく充実した委員会であり、青年部会となるよう頑張っております。

活動委員会

マル川建設株式会社  
川原 大地



■ 私達だからこそ伝えられる事

活動委員会の事業は学生など外部の方々に参加を頂くことが多いため、事前の準備に多くの手配や調整が必要となります。その都度委員会メンバー始め、青年部会の皆様からご協力と知恵を頂き、現在は「かごしま住まいと建築展」に向けて一丸となり事業内容の計画中です。

建築の魅力や素晴らしさを伝えるのは建築現場の一番近くで一番長く携わっている自分たち施工会社の協会員が適任であるはずですが、

一般の方や学生・学校との接点づくり・・・その貴重な接点をきっかけに若い世代に建築を学んでもらうこと。そして、新卒採用につなげ若い担い手達が会員企業の活力になること。事業を通して業界の発展に小なりとも力添えができればと思います。

会員研修委員会

内村建設株式会社  
内村 明高



■ 共に学び築いていく

2年目を迎えました会員研修委員会では、9月に開催予定の経営者講習会の計画を立てています。私たち建築業界が担い手を確保することに青年部会として貢献できるような、ワクワクするアイデアや企画を生み出していただけるようなワークショップを予定しています。この事業を通して、青年部会としても各企業としても、前向きなアクションを起こし続けていく気持ちとスキルを身につけられれば良いなと思っています。

昨年度は3名もの新入会員に入会いただきました。当委員会は、会員の拡大活動も担当しております。本年も会員企業の後継者・経営幹部に、青年部会の様々な活動にご参加いただき、共に業界を盛り上げていく仲間として繋がりを深めていきます。

また、熊本・宮崎の青年部会と交流する三県合同懇談会が鹿児島で開催されます。お互いの活動をヒントに、学びある機会にしたいと考えています。



一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会

部会長 田島 功輔 株式会社田島組

■ 令和へ。改めて青年部会の意義を考え集大成の年に。

早いもので、青年部会部会長の任期であります1期2年も、残すところ半年余りとなりました。日頃から私ども青年部会の活動にご理解とご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

元号が平成から令和へと新たになり、私ども青年部会も心機一転、青年部会の意義というものを意識しながら、様々な事業を計画し、実施してまいりたいと思っております。今年度は、部会長の私にとっても、各委員長にとっても最後の年であり、集大成の年でもあります。昨年に引き続き「WEB発信セミナー」や「経営者講習会」、「かごしま住まいと建築展」でのブース出展に「学生との交流会」などを実施する予定ですが、昨年度取り組んだ事業の反省点をしっかりと改善しながら、これらの事業を継続していき、会員や会員企業の為になる青年部会、青年部会活動に取り組んで参りたいと思っております。

今後とも青年部会の活動に対しまして、会員並びに関係各位の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄稿

「建築の素晴らしさを」

有限会社政建設 代表取締役副社長 政和豊

九州の大勢の建築家さんと3日間、共にした。(僕は建築家ではないが、工務店としての作り手側の傍ら、オブザーバーとしての参加依頼だった。)

奄美大島での、初めての建築家大会にワクワクした。その気持ち通りに、来島した彼らも同じだったと思う。

大勢の建築家さんとの交流で、九州各地にて日々、ケンチクと奮闘する彼らの姿が垣間見れた。毎回新たな場所で、その周辺環境を読み解き、クライアントさんの想い、その土地に佇む建築の在り方を創造するケンチクの難しさと日々向き合っている。

今回の大会に合わせて、僕達の造った建築も見学してくれた。隅々までの仕上がり(仕事ぶり)をチェックして、絶賛して頂いた。写真も沢山の研鑽の為に撮影していた。各所の納まりの種明かしに、タブレット写真を時系列にて見せながら説明した。

その建築は、昨年末に「世界の住宅」と呼ばれる建築雑誌「GA HOUSES 101号」に掲載された。『ケンチクは面白い。』

特に、クライアントさんの想いが強い住宅建築は、本音の「ものづくりの愉しさ」が味わえる。『ケンチクは難しい。』

その建築の在り方を、構造から下地、仕上げまで、逆算の納まりを読み解く。建築家の描いた図面を具現化出来る、工務店という仕事に誇りを持ちたい。

ケンチクの素晴らしさが、この奄美大島より今後も沢山のの方々に伝えて行ける様に、日々研鑽に励んでいきたい。

2000 誌のランダムコラム

STUDY 編

今更だと思ふかもしれないけれど意外と大事な「5W1H」。そして、「6W2H」。

When ( ) Where ( ) What ( ) Who ( ) Why ( ) How ( ) + Whom ( ) How much ( )

皆さんも一度は耳にした事があるであろう「5W1H」という思考ツール。極めてオーソドックスで、ベターなものと思うかもしれないが、改めて考えてみると基本であり意外と重要なお伝えしたいと思う。

人とのコミュニケーション、果てはマーケティング戦略にも抜けてはいけない要素であり、「考える、伝える、創る」等様々なシーンでも使える。

主体的にこのツールを使うのは比較的容易ではあるが、能動的つまり自分から相手に働きかける・伝える際にも意識すると良い。頭ではわかっていても意外とできていない事に気づく。

改めて基本に戻り、少し意識するだけで良いので実践してみてください。きっと良い効果が期待できるはずだ。

経営的には、6W2H(他にもたくさんあるがプラス2のもの留めておく)をマーケティング戦略で考えてみる。詳しく描くには行が足りないので簡単に...

- あなたの企業は Why ? その事業を何故するのか? What ? 何を提供するのか? Where ? 商品・サービス、価値どこですか? Whom ? ターゲットは誰か? 顧客は? When ? その事業はいつするのか? Who ? 期間? スケジュールは? How ? 誰がするのか? How much ? 担当、組織、パートナー 予算をどの程度投じるのか?

日々忙しい中の少しの時間で良い。白い紙と鉛筆片手に思考してみてください。どうか。新しい気づきがあるかもしれない。

New member introduction ~ 新入会員の紹介 ~



株式会社堀之内内商會 堀之内 敏

青年部会に新しい仲間が加わりました。会員の皆様宜しくお願い致します。

コラボのお誘い /

青年部会では、学校関係の皆様や異業種の団体等幅広く一緒に活動したいと考えています。鹿児島県の活性化に繋がる活動と一緒に企画していきましょう。当青年部会に、いつでもお気軽にお問い合わせください。

member's Recommend vol.3

株式会社山理建設 山下 和紀



EXPLORERS KAGOSHIMA.EXE

かつてストリートなどで「3on3」として知られていた3人制バスケットボールは皆さん知っていると思いますが、「3x3 (スリー・エックス・スリー)」という言葉聞いたことがあるでしょうか。世界統一競技ルールを設け、正式競技種目として国際バスケットボール連盟(FIBA)が推進している競技となります。そして「3x3」のプラットフォームとして世界に先駆けて日本で誕生した3人制バスケットボールのプロリーグ『3x3.EXE PREMIER』もあるんです。

そして実は、鹿児島にも「3x3」のプロチームがあり、私もOFFICIAL PARTNERとして運営に携わっています。チーム名は「EXPLORERS KAGOSHIMA.EXE」。プロスポーツ文化を定着させ、子ども達へスポーツの面白さ、楽しさを伝えたいという思いで活動しています。ホームページ等で試合情報等発信していますので、是非一度試合を見に来て頂き「3x3」の魅力を感じてみてください。文/山下 和紀

発行：一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会 鹿児島市城山町 2-13 TEL / 099-224-5220 mail : info@kagoken.net

編集後記

総会で山下さんとお話した時に初めて、鹿児島に「3x3」のプロチームがある事を知りました。「3x3」という言葉も初めて聞いたんですが、最近知ったかぶって使ってます。5人制バスケットもプロチームが出来、小中高バスケットをしていた自分としては、鹿児島のバスケット熱が更に盛り上がってきそうでもワクワクしてます。

青年部会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問合せください。